

## 【 室内は十分な換気、除湿を 】

この度は森下マンション I にご入居頂き有難うございます。

今年の梅雨は記録的な長さとなり、じめじめとした暑さが続きました。そこで大家さんから、快適な住環境支援の一環として除湿器を無償貸与して頂きましたのでお使いください。

原谷に限りませんが、地形上自然も近く湿度の高い夏は高温多湿、冬は気温差による結露などが生じます。放置するとカビ発生の原因になり、特に 1 階は多湿になる傾向がありますので梅雨時期や結露の生じる冬に限らず、各入居者にて十分な換気・除湿対策をして頂きますようお願いいたします。

### カビが発生する原因と影響

カビ菌はどんな環境でも常に空気中に浮遊していると言われています。それが以下の条件が揃った環境だと、どんどん増殖して目に見えて「カビが生えた」という状況になるのです。

- 気温 25～30 度
- 湿度 70%以上
- ホコリや汚れなどの栄養分
- 空気がこもりがち

カビが生えた状況を放置すると、健康への影響だけでなく、住宅の建材が劣化してしまったりシロアリが発生しやすくなったりなど、建物へ影響を与える場合があります。

部屋全体の湿気取りには、エアコンの除湿機能や除湿器の使用が効果てきめんです。部屋に湿度計を設し、60%を超える高い湿度になるようならエアコンや除湿器を使って湿度を調整する習慣をつけましょう。

## 増やさないための対策

部屋の空気がこもりがちになると、湿度も上がりやすくなるので、**天気が良い日は積極的に窓を開けて換気**を行いましょう。また、換気のために換気扇を回すのも効果的ですが、特に調理時や洗い物中は必ず換気扇をつけることが大切です。調理中も洗い物中も、食品から出た水蒸気や飛び散った水などで周囲の湿度が上がりやすくなります。調理中は換気扇を回している方が多いと思いますが、洗い物中に回している方は少ないのではないのでしょうか。カビ対策のためには、**洗い物の間も換気扇をつけておくことがおすすめです**。さらに、押入れやクローゼットも閉めっぱなしだとどんどん湿気が溜まっていきます。定期的に扉を全開にし、換気をしてください。

### “こまめな掃除”

栄養源になるホコリやゴミを家の中に放置しない。掃除はこまめに行い衛生環境を保つようにしましょう。

### “こまめな換気と除湿”

空気中が多湿とならないように、エアコンと除湿器を併用するなどおすすめします。また、部屋内の空気がこもらないように**市販のサーキュレーターを使用するなど**すると、空気が流動的になり、エアコンなどの電気代節約や風通し、換気に効果的です。

### “家具を壁や床にくっつけない”

空気をこもらせないことが大切です。空気の流れをよくするには、**家具を壁や床にくっつけず、隙間を作ることが効果的**です。壁や床にくっつけてしまうと、家具まわりの空気の流れが悪くなり、壁や床、家具の見えない部分にカビが繁殖しやすくなってしまいます。また、狭く暗い場所を好むゴキブリやシロアリなどの害虫の発生にもつながります。また、床は家具の下にすのこや除湿マットを敷き、空気の通りをよくすることがおすすめです。

### “部屋干しをしない”

部屋干しは洗濯物から出る水分で部屋の湿度が上がってしまうのでなるべく避けましょう。雨の日や花粉の時期など、どうしても部屋干ししなければならない場合は、**乾燥機を使ったりエアコンを洗濯物にあてたりするなど、できるだけ早く乾くように工夫**しましょう。除湿器の使用もおすすめです。

### “湿気対策アイテムを使う”

除湿剤や乾燥剤を使うのも、カビ対策には効果的です。特に湿気がこもりがち**な押入れやクローゼットの中には、常に除湿剤を置いておく**ことをおすすめします。また、窓際に除湿剤を置いておくと結露対策につながり、窓のゴムパッキンやカーテンにカビが繁殖しづらくなります。タンスの裏側など、家具と壁の隙間には乾燥剤を置いておくと湿気の吸収に役立ってくれます。お菓子などの袋に乾燥剤が入っていますが、小さくても効果はあるので、捨てずに有効利用しましょう。

※除湿機はエアコン同様、フィルターを定期的に洗浄してお使いください。